



江東エコリーダーの会は地元の環境・生物多様性に係わります

江東エコリーダー・ニュース 11号

水彩都市江東 安全・安心まちづくりは 人と人の交流から

発行 江東エコリーダーの会 江東区潮見1-29-7

ステップアップ研修「盤津干潟と千葉県中央博物館」

日時： 2012年4月8日

主催： 江東エコリーダーの会

小櫃川河口・盤津干潟を守る連絡会御簾納事務局長にご案内頂き、東京湾最大の盤津干潟見学を行った。約1400haの砂質干潟には貴重な植物の繁殖とともに、鳥や魚、底生生物等が躍動し、自然の豊かさを見ることができた。その後、千葉県中央博物館で干潟や海の生物について学んだ。東京湾の模型をもとに立体的な湾の様子を知ることができた。また、里山シンポジウム「生物多様性の米作り・里山バンキング」の中村俊彦副館長の講演『印旛沼干拓地での冬期湛水試験』を聞き、冬期湛水田・不耕起農法の不思議さを知ることができた。慣行農法よりも無農薬・不耕起農法の方が成長する可能性が大きいようだ。



延長 88km の小櫃川の流れ



小櫃川河口のマップ



遠くは新日鉄君津の小櫃川河口



御簾納さんのアシの根の熱い解説



たくさんのカニが遊ぶ川の流れ



横浜が望める広大な干潟



丁寧な東京湾と干潟の解説



慣行農法より元気な不耕起農法の米



冬期湛水田は底辺が大きい生態系